



令和7年度暫定予算の概要

令和7年1月
福岡県



令和7年度暫定予算のポイント

予算編成の考え方

令和7年度当初予算については、知事選挙が行われるため、4月から7月までの暫定予算を編成し、4か月間に必要な行政運営経費のほか、県民の安全・安心、地域活性化のために必要な経費を計上

予算の規模

(単位：百万円)

区 分	令和7年度 暫定予算額	前年度 当初予算比
○ 一般会計	966,957	45.4%
人件費	146,267	37.0%
社会保障費	142,893	37.2%
公債費	29,440	11.9%
公共事業費	145,645	68.6%
災害復旧費	14,157	90.5%
行政施策費等	488,555	55.6%
○ 特別会計（13会計）	238,676	23.8%
合 計	1,205,633	38.4%



主な事業

総務部

新規

○ 災害リスク予測システムを導入 4,640万円

- ・ 15時間先までの災害リスクを分析・予測するシステムを導入し、県民の早期避難を支援

新規

○ 県庁外来駐車場を一般に開放 5,051万2千円

- ・ 一般開放・有料化に向け、駐車区画整備、照明改修等を実施

企画・地域振興部

新規

○ 「大阪・関西万博」で「食の王国 福岡」の魅力を発信 3,709万2千円

- ・ 博多和牛・天然マダイ・八女茶等の農林水産物や県産酒、観光の魅力を発信するとともに、7県合同で九州をPR

○ 平成筑豊鉄道沿線における今後の地域公共交通のあり方を検討 1,879万1千円

- ・ 地域公共交通計画の作成に向け、「平成筑豊鉄道沿線地域公共交通協議会」を開催
- ・ 鉄道の利用状況等に関する調査を実施

○ 日田彦山線沿線の地域振興を支援 1億8,378万円

- ・ 芸術家による創作活動を通じた地域住民との交流イベントを実施
- ・ 東峰村、添田町が地域の実情に合わせて実施する地域振興の取組を支援



<平成筑豊鉄道>



主な事業

人づくり・県民生活部

新規

- 野生のサルによる人的被害対策を緊急支援 703万3千円
 - ・ 市町村が行う住宅地での野生のサルによる人的被害対策を支援
 - ・ 福岡県鳥獣被害対策システムにサルの出没情報の通知機能を追加し、注意喚起を迅速に実施
- 大学におけるワンヘルス教育を推進 1,089万2千円
 - ・ ワンヘルス教育プログラムの実証・改善を実施し、県内大学における導入を促進



＜住宅地に出没するサル＞

新規

- 2028年世界卓球選手権団体戦の誘致を推進 1,290万2千円
 - ・ 5月に国際卓球連盟年次総会が行われるドーハにおいて、本県開催に向けた誘致活動を実施

保健医療介護部

- ワンヘルスセンターの整備を推進 46億3,280万7千円
 - ・ ワンヘルスセンターの中核施設となる県保健環境研究所の建築工事を実施
- 「大阪・関西万博」で本県のワンヘルスの取組を発信 3,508万円
 - ・ 大阪・関西万博テーマウィークに出展し、著名人によるトークショーやパネルディスカッション等を実施
- 高齢者の健康の保持増進と適切な医療の確保、介護保険の安定化を支援 485億5,871万円
 - ・ 後期高齢者の医療費及び高齢者等の介護サービスにかかる費用の一部を負担



主な事業

福祉労働部

新規

○ 未来の保育の担い手確保に向けた取組を推進 1,956万9千円

- ・ 高校生等に向けて動画の配信やフェアの開催により、保育士の魅力を発信
- ・ 保育実習の充実を図るため、受入れ施設担当者向けの研修を実施

新規

○ 産前産後の家事・育児の負担を軽減 1,211万7千円

- ・ 妊婦、生後1年未満の赤ちゃんがいる方に、家事や育児をサポートするヘルパーを派遣

○ 新生児検査を充実し、疾患の早期発見により発症を防止 1億200万円

- ・ 先天性代謝異常等検査の対象に重症複合免疫不全症（SCID）※1及び脊髄性筋萎縮症（SMA）※2を追加

※1 SCID … 免疫機能の不全により、重篤な感染症を繰り返す疾患

※2 SMA … 脊髄の運動神経細胞異常のため筋力低下、歩行障害、呼吸障害をきたす疾患

○ 障がいのある方の収入向上を支援 958万2千円

- ・ 障がい者施設の利用者などが国立国会図書館の蔵書のデジタル化を行う「就労支援の場」を桂川町に設置

環境部

（公財）日本財団と連携して「就労支援の場」を設置⇒ 総事業費は約2.5億円

- ・ 県 … 業務の進捗管理を行うコーディネーターの配置、職員への研修の実施
- ・ 日本財団 … デジタル化業務の実施に必要な施設整備やスキャナ等の機器整備の支援

○ 県有施設の脱炭素化を推進 5億449万6千円

- ・ 県有施設に太陽光発電設備を計画的に整備

○ ワンヘルス体験学習・研究ゾーンを整備 2億398万7千円

- ・ ワンヘルスセンター内に、生物多様性保全に関するワンヘルス教育と研究を行う屋外エリアを整備



主な事業

商工部

○ 中小企業の円滑な資金繰りを支援 融資総枠8,676億円(うち新規融資枠3,285億円)

- ・ 中小企業向け制度融資を実施

新規

○ 新たなスタートアップ支援拠点「グローバルコネクト福岡」を「CIC Fukuoka※」に開設 4,719万6千円

- ・ 国内外で活躍する著名起業家等を招へいし、オープニングイベントを開催
- ・ CICと連携し、東京や世界の投資家・企業などとのビジネスマッチングを創出する「F★Pitch」を毎月開催
- ・ アジア・欧米市場への海外展開を目指す企業を対象にオンラインセミナーを開催

※世界的なスタートアップ支援機関であるCIC（ケンブリッジ・イノベーション・センター）が令和7年春、福岡市内に開設予定の施設

○ 閑散期平日の観光誘客を促進 1億6,675万6千円

- ・ 平日に県内に宿泊する観光客の旅行代金等を助成（最大20%、上限3千円）

農林水産部

○ 活力ある高収益型園芸産地を育成 14億4,816万7千円

- ・ 園芸産地の育成、雇用型経営導入等に必要な施設・機械の整備を支援

○ ため池等の安全対策を実施 34億2,423万9千円

- ・ 老朽化したため池の改修や農業用排水施設の整備等を実施

○ 動物保健衛生所の整備を推進 7億4,984万5千円

- ・ ワンヘルスセンターの中核施設となる、家畜、野生動物、愛玩動物の保健衛生に一元的に取り組む動物保健衛生所の建築工事を実施



＜ため池の整備＞



主な事業

県土整備部

○ 緊急輸送道路等を整備 83億8,497万3千円

- ・ 災害時の応急活動や緊急車両の通行を確保するため、緊急輸送道路整備や道路法面の崩壊・落石対策等を実施

○ 福岡市・北九州市へのアクセス向上を図る道路網を整備 52億2,395万1千円

- ・ 福岡市、北九州市周辺の基幹的道路を整備
- ・ 福岡、北九州高速道路を整備

○ 産業振興や地域活性化の基盤となる基幹的道路網を整備 55億8,121万5千円

- ・ 産業団地等とインターチェンジ、港湾とのアクセス向上を図る道路を整備
- ・ 広域的な地域振興を促進する道路を整備



＜緊急輸送道路の整備＞

建築都市部

○ 道路の渋滞緩和、歩行者の安全確保 46億2,334万4千円

- ・ 市街地における道路拡幅やバイパス整備、歩道整備等を実施

○ 西公園に眺望を活かした展望施設を整備 4億8,000万円

- ・ 博多湾や福岡都心部を360°見渡すことができる展望台や中央展望広場を整備



＜西公園展望台（整備後イメージ）＞



主な事業

警察本部

新規

○ 警察人材の確保を強化 557万3千円

- ・ 社会人経験者を対象とした採用試験を新設するとともに、語学・情報工学等の専門捜査官採用試験を2回に拡大

新規

○ 警察の災害対応力を強化 1,110万1千円

- ・ 大規模災害時に安全かつ迅速な人命救助を行うための搜索機材、救命胴衣等を整備

新規

○ 新たな福岡武道館を令和8年1月に開館 1,517万3千円

- ・ 開館記念式典、オープニングイベントを実施

教育委員会

新規

○ 中学生の英語力向上を推進 1,042万2千円

- ・ 福岡県学力調査に英語を追加し、中学2年生を対象に実施
- ・ 外国人と英語のみでコミュニケーションを図る宿泊体験活動を実施

○ 高校生へ県内企業の魅力を紹介し、就職・進学を促進 4,395万5千円

- ・ 企業と学校をつなぐコーディネーターを配置し、高校の進路担当教員を対象とした研修会を実施
- ・ 情報・先端技術関連企業や大学等の見学会、企業等による出前授業、エンジニア派遣による実習指導を実施

○ 安全・安心と教育環境の向上につながる学校施設を整備 178億9,224万7千円

- ・ 「福岡県立学校施設長寿命化計画」に基づく大規模改築、グラウンド改修等を実施

